

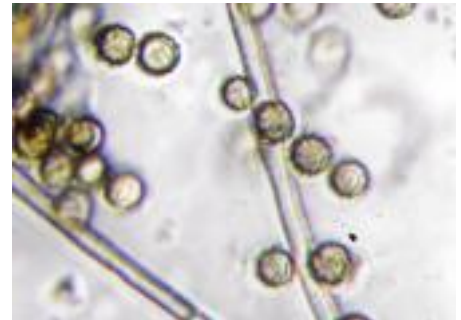
平成25年内に観察したきのこたち

山川 続（長崎県）

（3）スミレホコリタケ（ホコリタケ科ノウタケ属）

期 日：平成25年8月27日

場 所：佐賀市・県立森林公園



孢子表面にトゲトゲがある。



昨年も見つけていたんですが、ノウタケと思い、写真を撮ってなかったので、今年、撮影できて良かったです。

個体数は少ないですが、芝地や駐車場トイレ横に植えてある竹の近くに生えていました。

ノウタケの仲間、表面に多角形の模様があります。よく似たキクメタケにもあるので、しばしばweb上でも両者を混同しているものが見られます。下表に、両者の特徴をまとめてみました。

スミレホコリタケ	キクメタケ
<ul style="list-style-type: none">・表面に多角形の模様がある・孢子が紫色になり、断面も黒紫色になる・孢子表面にトゲトゲがあり無柄。・弾糸は厚壁で、分岐少なく隔壁がある。	<ul style="list-style-type: none">・表面に多角形の模様がある・孢子がノウタケ同様黄色みを帯びやがて茶色になる。・孢子は少し小さくて、表面は平滑か粗面、ときに短柄がある。・弾糸は厚壁で分岐し、孔口があり切りやすい。

熟した孢子が大きく違い、スミレホコリタケは紫色、キクメタケは茶色になります。写真のきのこの熟した孢子の色を確認していませんが、孢子表面にトゲトゲがはっきりあるのでスミレホコリタケと判断しました。

右の写真は8年前に撮影したもので、名前が分からずにノウタケの仲間で処理していたものです。今回の出会いで、スミレホコリタケの老菌だとわかりました。8年越しの恋が実った感じです。



スミレホコリタケ老菌（長崎県・長与町 20050715）→

引用資料：「新版北陸のきのこ図鑑」

「原色日本新菌類図鑑Ⅱ」

<http://blog.livedoor.jp/sakumad2003/archives/6739007.html#more>